

2(2)その他,特筆すべき教育・研究・診療・社会貢献活動等への取組と成果,世界的位置付けなど。(評価年次報告「卓越した教育研究大学へ向けて」で報告する内容)

**特筆すべき教育活動**

該当なし

**特筆すべき研究活動**

・スーパーコンピュータに関する産学連携研究に取り組み,センターのスーパーコンピュータSX-9が,国際的な性能評価指標であるHPCチャレンジベンチマークの28の評価項目中19項目で世界最高性能を達成した。

平成19年度に仙台知的クラスター創成事業「先進予防型健康社会創成クラスター事業」(平成19年度~平成23年度:委託費総計27億5716万円)に採択された。本事業は,高齢化が特に顕著な東北地域において,産学官の連携により予防医療・自立的健康管理を推進し,全ての人々が健康な人生を送ることができる社会の実現を図り,サービス開発・機器開発に関する産業集積などを目的としたものであり,平成20年度は,遠隔医療用の携帯型生体センサの改良および医療情報用データベース・ラッピングエージェントシステムの作成などに加え,医師不足に対処するための訪問診療の高度化および情報化を行うためのモバイル診療装置を新たに開発し,本事業の推進に貢献した。

**特筆すべき社会貢献活動等**

サイエンスカフェ・コーディネータとして「東北大学サイエンスカフェ」を毎月1回主催し,東北大学の研究者の成果を一般市民にわかりやすく紹介するとともに,東北大学の知名度向上に貢献している。

全国共同利用施設であるスーパーコンピュータを有する7大学は,平成19年度7月から平成21年度3月まで,文部科学省先端研究施設共用イノベーション創成事業の支援を受け「先端的大規模計算シミュレーションプログラム利用サービス」を通じ,社会貢献の一環として,大学で開発された応用ソフトウェアとスーパーコンピュータの民間利用への提供を実施した。平成20年度本センターでは,5件の課題について民間への提供を行い,本事業を推進した。